

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 小出支所 | 作成責任者 | 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 総従事者 | 時間外勤務時間 | |
|------|----|--------------|-------|------|------|--------|------|---------|--------|---------|----------|
| 施策目標 | 69 | 北部の行政拠点を充実する | 柳下 元邦 | 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間 | 臨時職員 | 非常勤嘱託職員 | 総人工 | 総時間 | 一人あたり月平均 |
| | | | | 2 人 | 4 人 | 3 人 | 2 人 | 1 人 | 7.89 人 | 146 時間 | 3.0 時間 |

1 施策指標と実績(Do)

| 施策指標名 | 4次実施計画の 現状値 | 目標値 (R2年度) | 実績値 | | |
|---------------|----------------|---------------|-------|-------|------|
| | | | H29年度 | H30年度 | R元年度 |
| 小出支所での取扱業務項目数 | 253件 | 256件 | 254件 | 254件 | 254件 |
| 0 | 0.0% | 0 | | | |
| 0 | 0.0% | 0 | | | |

(施策のねらい)

| | |
|---|--------------------|
| 1 | 北部の行政拠点としての小出支所の充実 |
| 2 | 小出支所を活用した多様な施策展開 |
| 3 | 斎場の適正な管理運営 |
| 4 | 0 |
| 5 | 0 |
| 6 | 0 |

(評価の見方) S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
Z 未着手事業(計画していたが未実施に終わった) 実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実施予定のないものを含む)

2 政策的事業の実績(令和元年度)

| 事務事業の取組結果と成果(効果) (Plan / Do) | | | | | | | | | | | | | Check | | Action | |
|------------------------------|------------------------|----|------|------|--------------------------|------------------------|--|----------------------|-------------------|--------------------|---------|-------|-------|------|--------|------|
| No. | 事務事業 (第4次実施計画) | 施策 | 従事者数 | 会計区分 | H30予算(円) H30決算(円) | R元予算(円) R元決算(円) | 何・誰に対して (対象) | どう働きかけた結果 (手段・方法) | どうなったか(生まれた成果・効果) | 事務事業の指標 | R元目標値 | R元実績値 | 評価 | 取組時間 | 事務改善 | 休・廃止 |
| 1 | 施設改修工事 | 1 | 0.00 | 一般 | 83,680,000 83,225,880 | 0 0 | 平成30年度で事業終了。 | | 耐震補強及び施設改修工事 | - | - | | 実績なし | | | |
| 2 | 茅ヶ崎市斎場火葬炉設備等修繕 | 3 | 0.20 | 一般 | 24,435,000 24,192,000 | 9,816,000 6,779,848 | 老朽化した火葬炉設備のうち、台車ブロックに係る修繕を実施し、自動火災報知器の改修工事のため、補正予算化した。なお、工期の関係上、火災報知器の改修工事は次年度へ繰越明許した。 | | 火葬炉設備修繕及びトイレ改修工事 | 火葬炉設備修繕工事及びトイレ改修工事 | 元年度は未実施 | | Z | - | | |
| 3 | 市民の相談・要望の処理と関係機関への連絡調整 | 1 | 0.27 | 一般 | 0 0 | 0 0 | 小出地区の地域住民の相談・要望等に対し、関係機関への連絡調整を迅速かつ的確に行い、市民満足度の向上を図った。 | | 窓口の開設日数 | 245日 | 242日 | | S | 変動なし | | |
| 4 | 母子健康手帳事務 | 1 | 0.09 | 一般 | 0 0 | 0 0 | 母子健康手帳の交付と合わせて、母子の健康にかかる様々なパンフレット類を配布することで、健康増進の推進及び情報収集の負担軽減を図った。 | | 母子健康手帳の交付件数 | 50件 | 30件 | | A | 減少 | | |

| | | | | | | | | | | | | | | |
|----|------------------|---|------|----|---------|-----------|--|--------------|-----|-----|---|----|--|--|
| 5 | 所管区域の団体活動への協力・支援 | 2 | 0.26 | 一般 | 0 0 | 0 0 | 小出地区の活動団体等に対し、積極的に協力及び支援を行い、地域住民の満足度の向上を図った。 | 会議・行事等への参加回数 | 50回 | 38回 | A | 減少 | | |
| 合計 | | | | | R元予算(円) | 9,816,000 | | | | | | | | |
| | | | | | R元決算(円) | 6,779,848 | | | | | | | | |

3 実施計画事業(政策的事業(政策的事業のない課はいは一般管理事務等))の総括評価

人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check) / 今後の展望(Action)

小出支所の令和元年度の事務事業数は21事業あり、うち政策的事業は4事業(総務担当3事業、斎場担当1事業)である。政策的事業の評価結果は、「S」1事業、「A」2事業、「Z」1事業となっており、未着手の1事業を除き成果を出すことができた。

施策指標としている小出支所での元年度の取扱業務項目数は、254件と変動はなかったが、引き続き市民ニーズに適応した利便性の高い支所として取り扱い業務の拡大を進めていく。

職員の時間外勤務は、総時間146時間、一人あたりの月平均時間は3.0時間であり、前年度と比較して総時間は241時間、一人あたりの月平均時間は5.1時間と大幅に減少することができた。その理由として、平成30年度は耐震補強及び改修工事にかかる支所移転作業等に時間を費やしたことにし、元年度は知識、経験のある職員により各業務を円滑に実施することができたため、時間外が減ったものとする。

斎場の施設管理については老朽化した火葬炉設備の修繕工事を行い施設の長寿命化を図るとともに、斎場の棺台車の経年劣化が進行し更新時期が過ぎていることから、引き続き事業を継続していく。さらには、今後の施設の・整備等を踏まえた斎場運営を図るため安定した財源を確保すべく、現在の使用料の金額や対象についての妥当性などについて引き続き検討を続けていく。

今後も、小出支所は、北部の行政拠点として、地域住民の相談・要望等の対応や活動団体等に対する積極的な支援をすることで、地域住民の満足度を向上させていく。

4 Actionにチェックの入った今年度「事務改善」を行う事業

| No. | 事務事業(事業がない場合は-) | 事務改善の内容 |
|-----|-----------------|---------|
| - | - | - |

5 Actionにチェックの入った今年度「休・廃止」を検討する事業

| No. | 事務事業(検討事業がない場合は-) | 休・廃止検討の理由(1事業も検討できない場合はその理由を記載) |
|-----|-------------------|---|
| - | - | 斎場施設の長寿命化・施設の更新については、斎場は他に代替の利かない市民誰もが最期に必ず利用することになる必須の施設であるため、将来の「多死社会」を見据えて事業を進める必要がある。また、その他の事業については、地域にとっても重要な役割を担っているため、北部の行政拠点として引き続き実施していく必要がある。 |